



下水道かわら版

第二号

令和3年8月発行

前回の創刊号では、汚水事業の内容や費用負担についてお伝えしました。

今回の「下水道かわら版・第二号」では、前回に引き続きみなさまの生活に密接に関わる汚水事業の役割や効果についてお伝えします。

1. 下水道（污水）の役割 ～私たちの快適な生活を支えています～

(1) 生活環境の改善 ～まちを清潔にする～

家庭や事業所などから排出される「污水」は、道路に埋設された污水管を流れて浄化センターに集められます。下水道が普及すると、「污水」が側溝を流れることがなくなり、蚊・ハエなどの有害生物や悪臭の発生を抑制するとともに、感染症や伝染病の蔓延を防ぐ効果も期待できます。



(2) 環境保全 ～海や川などの水質を保全する～

浄化センターに集められた「污水」は、浄化・殺菌処理したのち、「きれいな水」となって公共用水域（海や川など）に放流されるため、環境保全に大きな役割を果たしています。



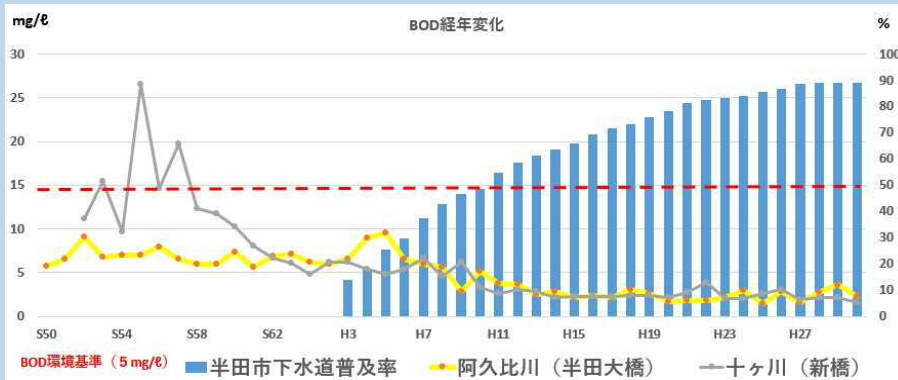
2. 下水道（污水）による効果

浄化センターにおいて污水処理が適切に行われなければ、公共用水域の水質汚濁が進み、「河川の汚染」、「赤潮」などのさまざまな問題が発生しやすくなります。

次の各グラフは、下水道普及率（※注1）の増加と各問題の推移関係を示したグラフになります。

（※注1）下水道普及率：下水道が使えるようになった区域の人口／半田市の総人口

河川の汚染

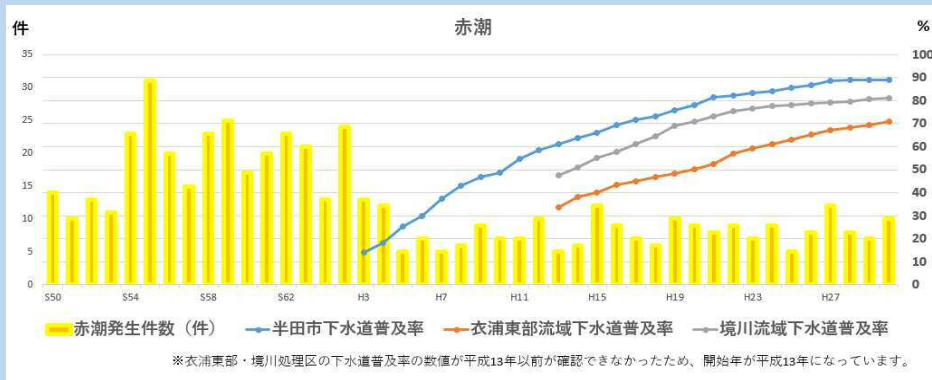


下水道普及率が50%を超えたあたりからBOD（※注2）は、低値で安定しており、河川の水質向上に繋がっていることがわかります。

（※注2）BOD（生物化学的酸素要求量）：河川における有機物による水質汚濁の指標

※出典「愛知県ホームページ（衣浦西部流域下水道）」

■ 衣浦湾の赤潮



※衣浦湾とは、5市3町(半田市・碧南市・刈谷市・西尾市・高浜市・東浦町・美浜町・武豊町)にまたがる港湾です。
 ※境川流域下水道とは、7市2町(刈谷市・豊田市・安城市・大府市・知立市・豊明市・みよし市・東郷町・東浦町)の汚水を集めて処理します。
 ※衣浦東部流域下水道とは、3市(碧南市・安城市・高浜市)の汚水を集めて処理します。

下水道の普及とともに衣浦湾の赤潮発生件数も低値で安定するようになってきていることがわかります。

赤潮は、水中のプランクトンが異常繁殖することにより、海中の溶存酸素濃度を低下させ、発生した際には、魚介類に大きな被害を与えることがあります。下水道により海の富栄養化を抑制することは、赤潮の発生を減らすことに繋がっています。

その一方、浄化センターの汚水処理によって海がきれいになりすぎること植物プランクトンなどの育成に必要な栄養分が減ることになり魚介類の成長・繁殖に影響があります。そのため、処理水の水質を適正に管理することで、魚介類の生産向上などに役立つ取り組みがはじまっています。

※出典「豊かな海”三河湾”環境再生推進協議会」

連載！ 浸水から街を守る 排水ポンプ場の施設紹介

排水ポンプ場は、海や川に自然流下で排水できない雨水を集め、汲み上げて放流する施設です。

半田市は、昭和40年から50年代にかけて、集中豪雨による被害を受けたことを教訓に、「水に強いまちづくり」を市の最重点施策として、雨水管と排水ポンプ場を整備してきました。次号からは、8箇所の排水ポンプ場を順次紹介していきます！



■ 雨水のイメージ図

